

4月の書籍
ベスト5

山陽堂だより 82

2016年5月号

4月の雑誌
ベスト5

1. わたしのじいちゃん
ミシマ社 益田三三作
平澤一平監会

2. 僕の名はアラム
新潮社 W・サロマン著
柴田元幸訳

3. 結婚式のメンバー
新潮社 カンマックス著
木下と春樹訳

4. 羊と鋼の森 **本屋大賞**
文芸春秋 宮下奈都著

5. 黄色いマンション
黒い猫
スウィッチャリツツカ
小泉今日子著



山陽堂書店

03-3401-1309

お休みの
お知らせ

6月4日(土)お休み
させていただきます。
雑誌書籍の入荷は
ありません。

1. つるとはな3号
・ 人生の先輩に聞く
・ 一年生なんでもの数字よ

2. 家庭画報5月号
夢の豪邸 拝見

3. SPUR 5月号
We Love Fashion

4. POPEYE 5月号
TOKYO COMPLETE GUIDE
2016

5. GINZA 5月号
オシャレ電話相談室

5. ELLE JAPON 5月号
おめれスタッフの新27と
探せ!

5月25日 13時より

青山善光寺さんで

『青山地区 戦没者追悼会』があります。

「1945年5月25日の空襲で、青山一帯が焼けたあの夜、

僕は青山墓地の高台から町の焼けたいく光景を、火の海を、
上空を泳ぐ巨大な銀の魚を、たいく茫然と眺めていたのです。

翌朝、電車通り(現・青山通り)の架線が焼け落ちて、その下には
焼け死体が並んでいた風景(後略)がある。71年前、青山一帯が
焼くつくされた光景を語るメルと休馬さんの方から送って来ました。

善光寺さんでは、71年間、「山の手大空襲」のあった5月25日に
法要が営まれています。今年も本堂での法要の後、俳優の
矢田穂代による朗読を聞かせていただきます。

法要には約40名の方が
参加しました。

『万年筆のうはいる物語』より

(☺) はじめの手にある万年筆、背中に汗がすっかーり沁みこみ、
 この本に見入ってしまった。大女子キタムに正しく伝えられなくて、
 遠く遠くになつてしまう。「正しい伝え方」が、あつた。それは「間違え」
 ↓ しまった。人生の転機。遅い就職活動の途中。素敵な本屋さんと、
 素敵な文字たち。傷は癒えない。それでも時は流れるのだ。
 日光か。一人旅。それもいゝかもしれない。

☺
↓

万年筆、小さい頃には父から使っていてあんなに
今日は東京よりも少し北に住む父からわざわざ出てきてくれたのに
夕飯はカレー/合めあひ/合えすいまい。また、少ししてら合いに帰りますね。

ふらりと入った。外の景色には無縁の静けさで、少し落ちついて。
本と目挑め、糸会と目挑め、空気を味わった。万年筆を手にとった。
進学祝でもらった万年筆を喜んで使った。と思ひ出した。

大切な物か、持ち主と時と共にしてきつた物。
 そんな物かまわっている 守りか、好きで。

↓
 万年筆、草包、アサセサリ……。それ何れも自分の本心。
 そんな想いと、そんな時間と、一糸縷に重なってきたか。
 そんな想いと、そんな時間と、一糸縷に重なっているか。

(☺) 「自分の身体をいじ」とわかっているつもりか。「やらなくちゃ」
 「こうしたほうがいい」「キウワレタリ+イ」。身体も心も不自由になつてゐた。
 その二とに気がつかない程めづり前に過してしまつてゐた。
 意識に 本当は思つてゐることを やりた...とに 目と口を付けてゐる。

山陽堂書店 presents

書店 presents
4月23日は大切な人に本を贈る日 / サマズに「この本を7-11」
に送られた言葉に (15)

デコレーションと
 デザインと...
 三位一体となったポストの展示は
 浸れる素直な展示でした。

君の世界は無限大。
 素直にそう思える。
 コヒーの持つ力をこめて...
 急がずスチキにふくらませこ
 くねるを...。

本の数だけ、世界が
ありますよね😊

本との出会い 世界との出会い。

たくさん書店、古書店
出版社か運搬して子(可)
あ、T-3ステキな事、前申込之
1月23日に山陽堂さんで自前め2に和...

サン・ジュレットの日、本と貝贈りあう
 祝祭日の習慣、今回初めて矢印は、
 素直な習慣をすた。
 可「フネ」はちから

「无す」は「一歩」を「同」な「背」に「可」た。
「は」い「め」ま「ら」な「る」に「て」ち「か」ら